

さくら保険サービス通信

〒830-0016 福岡県久留米市通東町3-5杉本ビル2F

TEL 0942-37-7351 FAX 0942-37-7352

さくら保険サービスのURL <http://www.sakura-hoken.com/>

21年
7月号

あなたもわずか30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



7月大雨の事例集

■7月は大雨が多い季節

気象庁の大雨があった季節の事例を調べたら過去13年間で下記の表のように7月に大雨が多いです。これは梅雨の集中豪雨が要因でしょう。これから梅雨の本番です。気をつけねば。

7月に災害をもたらした大雨事例			
平成30年（2018年）		平成23年（2011年）	
6月28日～7月8日	西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨。	7月27日～7月30日	新潟県や福島県会津で記録的な大雨。
平成29年（2017年）		平成22年（2010年）	
6月30日～7月10日	西日本から東日本を中心に大雨。5日から6日にかけて西日本で記録的な大雨。	7月10日～7月16日	西日本から東日本にかけて大雨。
平成27年（2015年）		平成21年（2009年）	
6月2日～7月26日	九州南部、奄美地方を中心に大雨。	7月19日～7月26日	九州北部・中国・四国地方などで大雨。
平成26年（2014年）		平成20年（2008年）	
7月30日～8月11日	四国を中心に広い範囲で大雨。	7月27日～7月29日	中国・近畿・北陸・東北地方を中心に大雨。
7月6日～7月11日	沖縄地方、九州南部・奄美地方で暴風・大雨。	平成19年（2007年）	
平成25年（2013年）		7月1日～7月17日	沖縄から東北南部の太平洋側にかけて大雨。
7月22日～8月1日	西日本から北日本の広い範囲で大雨。		沖縄、西日本の太平洋側と伊豆諸島で暴風。
平成24年（2012年）		平成18年（2006年）	
7月11日～7月14日	九州北部を中心に大雨。	7月15日～7月24日	長野県、鹿児島県を中心に九州、山陰、近畿、北陸地方の広い範囲で大雨。

さくら保険サービス通信

〒830-0016 福岡県久留米市通東町3-5杉本ビル2F

TEL 0942-37-7351 FAX 0942-37-7352

さくら保険サービスのURL <http://www.sakura-hoken.com/>

21年
7月号

あなたも30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



雨の強さを知って 自分を守りましょう

■雨の強さを知っておきましょう

気象庁は大雨で災害が起こるときは大雨注意報や洪水注意報。重大な災害が起こるときは大雨警報や洪水警報。さらに重大な災害が起こるおそれ大きいと大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけますが、私たちも雨の強さを感じるようにしておきましょう。

雨の強さと降り方

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			車の運転は危険

あなたもわずか30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



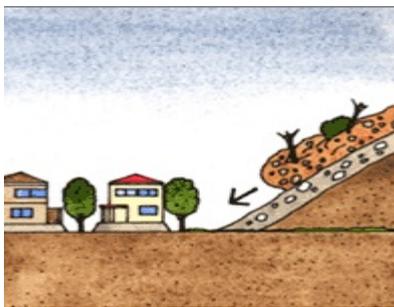
大雨と土砂災害の関係は？

■土砂災害とは

大雨が引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりするのが土砂災害です。土砂災害には「土石流災害」「地すべり災害」「がけ崩れ災害」があります。

●土石流災害

土石流災害は、大雨がきっかけとなり、谷や斜面にたまった土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害です。



●地すべり災害

地すべり災害は、ゆるやかな斜面で地中の粘土層などの滑りやすい層が地下水などの影響で動き出す現象です。広い範囲にわたって起こるのが特徴で家や田畑、道路などの交通網などが一度に被害を受けてしまいます。



●がけ崩れ災害

がけ崩れ災害は、地面にしみ込んだ水分で土の抵抗力が弱くなり斜面が突然崩れ落ちる急な斜面で発生する災害です。突発的に起こり、速いスピードと強い破壊力をもつがけ崩れなので悲惨な災害につながってしまう傾向があります。



あなたも **30秒** で情報通! **活用法** いろいろ **コミュニケーションペーパー**



土砂災害から身を守る

土砂災害の予兆

1. 自分の居る地域で豪雨や長雨が続けている
2. 溪流の水が濁り木が流れたり土臭い臭いがする
3. 溪流の水位が急に減少する
4. 斜面から物音がする、何かが落ちてくる、水が浸みだす
5. 地面に亀裂や段差が生じる、木が傾いたり、地面が揺れる
6. 地鳴りがする
7. いつもと違うことが起きる

■土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所から外に出る

土砂災害の前兆現象と思われるものがあるときや、不安を感じたら避難勧告などがなくても早めに土砂災害危険箇所から外に出るようにしましょう。

●何か起きてからでは避難できない

土砂災害は、そのスピードとパワーが凄まじいため、災害が起きてから避難しようとしても、間に合いません。避難指示、土砂災害警戒情報等が出てからでは遅い可能性もありますので、不安を感じたら雨が弱いうちに避難準備を進めたり、土砂災害の危険性が無い地域へ外出してしまうなど、早めの避難行動をとりましょう。

引用・参考は「気象庁」より
https://www.jma.go.jp/jma/ki_shou/known/yougo_hp/amehyo.html
引用・参考は「日本気象協会」より
<https://tokusuru-bosai.jp/refuge/refuge03.html>